

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	Kids Reha RECURU.		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 20日		～ R8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	R8年 1月20日		～ R8年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ご家族との面談の中で、お子様の成長に不安に感じていることに関して、丁寧に傾聴し、発達課題に対して具体的な個別支援計画を立案し、専門的な視点で取り組んでいます。 具体的に生活で本人やご家族が困っている状況を時間・場所など明確にし、適宜必要な支援を、スタッフ間でミーティングで検討し、対応しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ご家族ごとに感じられていることが異なりますので、画一的なかわりではなく、オーダーメイドで子ども、ご家族にフィットした個別支援計画立案と対応をし、経過を適宜確認し、都度アプローチを検討しております。 連絡帳、面談時にあった、ご家族の悩みについては、次回利用日までに職員間と共有し、ミーティングし、対応しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子供のライフステージやご家族の過程状況まで鑑み、個別支援計画を作成します。 今後ご家族に寄り添える職員を増やすため、ご家族と直接やり取りする機会や、研修会など検討することで、事業所の質が向上すると思われれます。
2	<ul style="list-style-type: none"> リハ職種が中心となり、ICFの概念のもと、子供たちのストレングスと課題、特性、発達段階、身体機能、日常生活動作の状況、家庭環境、園での様子、今後の課題を明確にすることで、子どもたちが安心し、楽しく、支援を受けることが出ています。 	<ul style="list-style-type: none"> 特性や発達段階を評価バッテリーを活用することで、客観的に評価し、得意や課題をアセスメントします。 職員主観的で直感的な気づきも大切にすることで、子供たちのわずかな心の変化に気づけるように配慮しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 経時的に客観的な評価を積み重ね、出来るようになったことを視覚的にもわかりやすく保護者様に提示し、お子様の成長に気づいていただけるようにします。 療育内容を定期的にSNSなどで発信し、情報共有を図ります。
3	<ul style="list-style-type: none"> お子様が利用中に、様々な状況（集中する、楽しむ、リラクセス、切り替える、机上活動、工作、運動等）を狙いとした療育活動に適應した、環境設定、課題設定を特性や日々の天候などの状況による子どもの体調に合わせ支援プログラムを検討していること。 子どもたちが見通しやモチベーションを保つために、構造化にも取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚、聴覚に過敏さがある方には、パーテーションや個室等を活用し、集中しやすい環境を整えます。気温が高く、気持ちは高まっているような日には、適宜照明を調整すること、スヌーズレンなどで感覚を調整していること。 BGMも運動療育、机上課題時など適宜変更し、こどもたちのモチベーションを維持できるように工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> パーテーションを拡充し、より子供たちが安心して療育出来るような環境を整えます。 ご家庭や園でも実践できるような、環境設定の方法も適宜検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援の機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在研修会を企画しました。参加されたご家族はとても満足され、喜ばれておりました。参加家族が増えること、参加しやすいことが今後の課題。 ご兄弟児さんも楽しみ、事業所が認知されることで、地域に事業所がなじむよい機会になる可能性があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後ご家族が参加できるようなイベントを企画し、地域に開かれた事業所を目指したいと思います。 マルシェなどを企画し、参加できる機会を増やします。
2	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃より利用者様のために、詳細に評価し、こどもたちが楽しく生活に必要なことを、いかに楽しく学べるか検討しているにもかかわらず、うまく発信で来ていないこと 訓練時のことなど、情報共有出来る場を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 月2回程度、利用者様の取り組みについて、SNSで発信する。 個人情報、トリプルチェックで確認し配慮する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援プログラムの体制は整っておりません。そのため、個別に相談や助言などの支援を現在行っております。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアレントトレーニングは現在実施しておりませんので、今後保護者のニーズに応じて、検討致します。